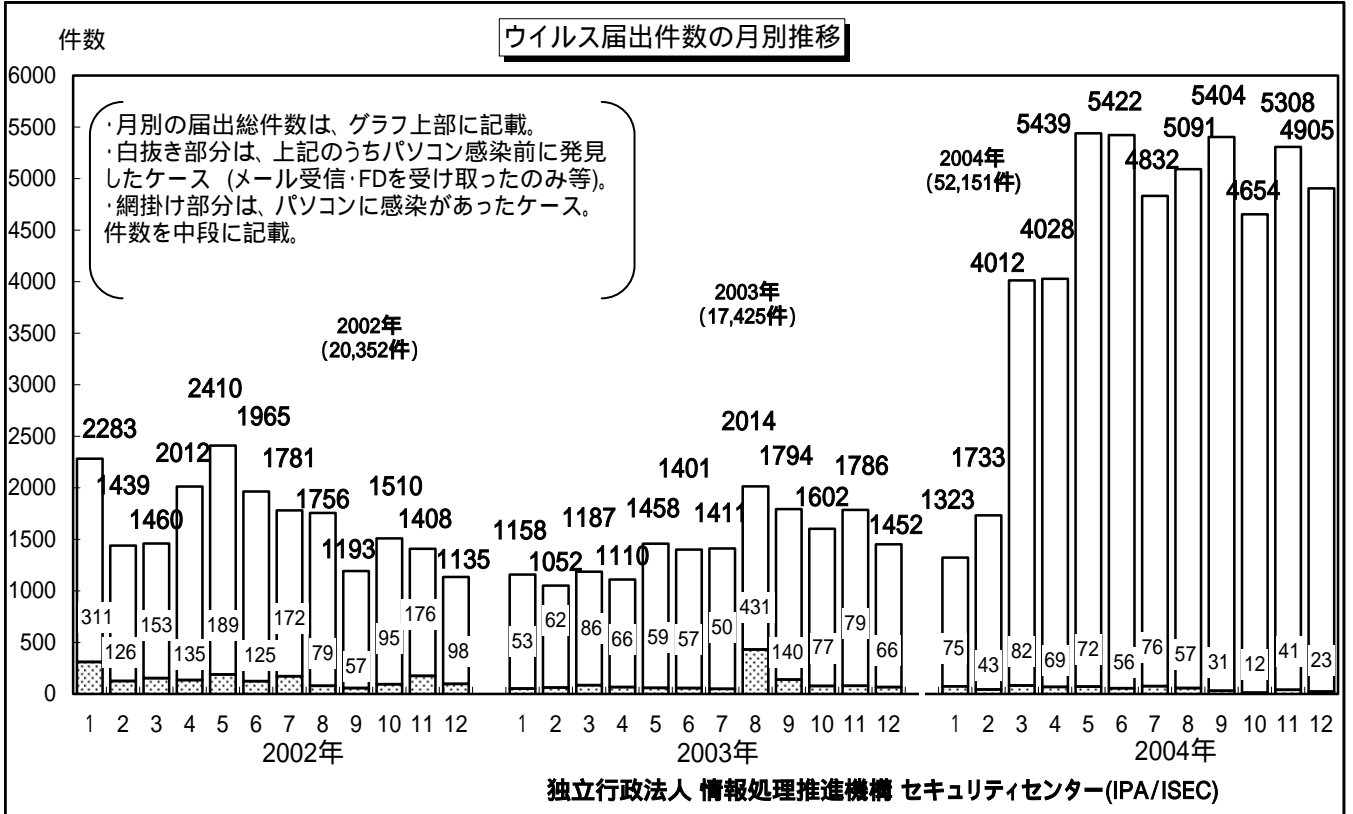


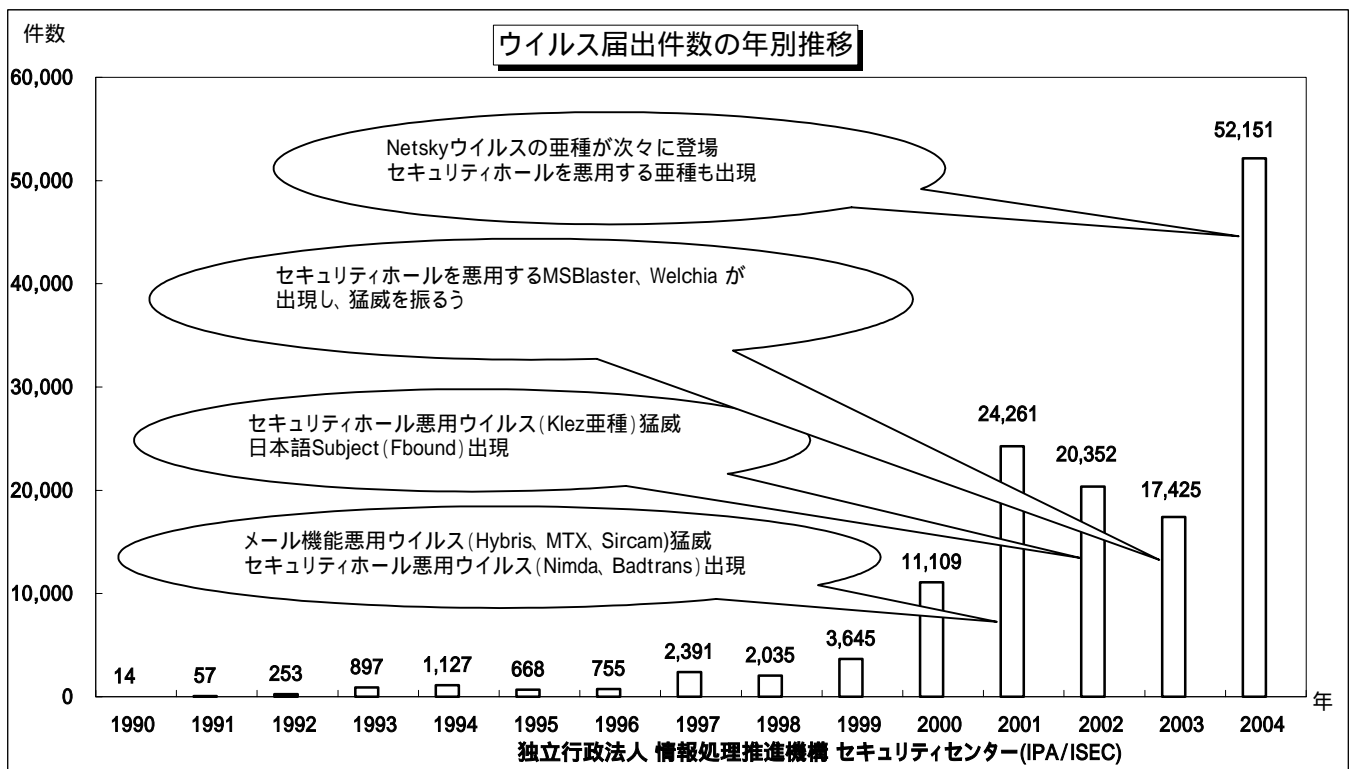
コンピュータウイルスの届出状況について [詳細]

・ ウイルス届出の詳細

1. ウイルス届出件数の月別推移



2. ウイルス届出件数の年別推移



3. 12月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 84 種類で、Windows/DOS ウィルス 4,747 件、マクロウイルス及びスクリプトウイルス 155 件、OSS のウイルス 3 件でした。

i) Windows

()印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	Windows/DOS ウィルス	届出件数
W32/Netsky	1,296	W32/Dabber	1
W32/Bagle	488	W32/Frethem	1
W32/Mydoom	314	W32/Lirva	1
W32/Sober	257	W32/Moega	1
W32/Lovgate	252	W32/Opaserv	1
W32/Klez	211	W32/Ska	1
W32/Zafi	211	W32/Tzet ()	1
W32/Bagz	194		
W32/Mabutu	154	小計	4,747
W32/Bugbear	126		
W32/Funlove	111	マクロウイルス	
W32/Swen	110	XM/Laroux	10
W32/Mimail	106	W97M/X97M/P97M/Tristate	6
W32/Dumaru	85	XF/Sic	6
W32/Mota	77	WM/Cap	2
W32/Fizzer	62	W97M/Ethan	1
W32/Valla	59	W97M/Marker	1
W32/Yaha	58	W97M/Opey	1
W32/Bofra	57	W97M/Relax ()	1
W32/Spaces	57	W97M/Sapattra ()	1
W32/Mywife	50	W97M/X97M/Toraja	1
W32/Parite	50	X97M/Divi	1
W32/Kriz	45	小計	31
W32/Hybris	37		
W32/Sobig	31	スクリプトウイルス	
WYX	23	VBS/Redlof	87
W32/Badtrans	23	VBS/LOVELETTER	11
W32/Magistr	23	Wscript/Fortnight	8
W32/Tenrobot	18	VBS/Internal	7
W32/Lovelorn	14	VBS/Soraci	3
W32/Nimda	14	VBS/Freelink	2
W32/Evaman	13	VBS/Haptime	2
W32/Mumu	13	VBS/Netlog	2
W32/Ganda	12	VBS/Gedza	1
W32/Welchia	12	Wscript/Kakworm	1
W32/Plexus	11	小計	124
W32/Chir	10		
W32/Mugly ()	7	ii)Macintosh	
W32/MSBlaster	6	なし	
W32/Torvil	6		
W32/CIH	5	iii)OSS (OpenSourceSoftware)、UNIX	
W32/MTX	5	Perl/Santy ()	3
W32/Randex	4		
W32/Sircam	4	iv) 携帯端末	
W32/Antinny	3	なし	
W32/Explet	3		
W32/Gaobot	2		
W32/Korgo	2	(参考)	
W32/Misodene ()	2	Windows/DOS ウィルス	
W32/Tecata	2	Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。	
Cascade	1	マクロウイルス	
W32/Aliz	1	MS-WORD や MS-EXCEL などのマクロ機能を	
W32/Blaxe	1	悪用するウイルス。	
W32/Bobax	1	スクリプトウイルス	
W32/Conylite ()	1	機械語への変換作業を省略して実行できるよう	
		にした簡易プログラムで記述されたウイルス。	

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
W97M/X97M/P97M	MSWORD97、MSEXCEL97、MSPowerpoint97 (Word97Macro/Excel97Macro/PowerPoint97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
Perl	Perl で記述

4. 12月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/ Mugly (マグリー)

このウイルスは、パソコン内にあるアドレス帳やテキストファイルなど、複数のファイルからメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、自分自身を添付したメールを送信する活動を行います。また、Windows のセキュリティホールを悪用し、ネットワーク経由で感染を拡大する活動も行います。

感染すると、ウイルスが保有する画像を表示したり、パソコン内にバックドアを設定し、外部からのコマンドを受け付けるようになります。

(2) W32/ Misodene (ミソデーネ)

このウイルスは、パソコン内にあるアドレス帳やメールなどからメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、自分自身を添付したメールを送信する活動を行います。

添付ファイルを開くと偽のメッセージボックスを表示し感染します。

(3) W32/ Conylite (コニライト)

このウイルスは、パソコン内からメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、特定のWeb サイトへのリンクを含んだメールを送信する活動を行います。(添付ファイルはありません。)

ウイルスが送信したメールを開くと、Windows のセキュリティホールを悪用し、Web サイトから不正プログラムをダウンロードする活動を行います。

(4) W32/ Tzet (ティーゼット)

このウイルスは、自身が保有するユーザ名とパスワードを利用し、ネットワーク経由で感染を拡大する活動を行います。脆弱なパスワードを設定していると感染する可能性があります。

感染すると、バックドアを設定され、外部からパソコンを悪用される可能性があります。

(5) W97M/Relax (リラックス)

このウイルスは、Word ファイルに感染するマクロウイルスです。感染ファイルを開くと、NORMAL.DOT (標準テンプレート) に感染し、以降、Word ファイルを開いたり、閉じたりするタイミングで感染を拡大します。

また、特定の日付にメッセージを表示する発病があります。

(6) W97M/Sapattra (サパットラ)

このウイルスは、Word ファイルに感染するマクロウイルスです。感染ファイルを開くと、NORMAL.DOT (標準テンプレート) に感染し、Word を起動するたびに動作するようになります。また、Word のセキュリティレベルの設定を改変し、マクロの警告を表示させないようにします。

(7) Perl/Santy (サンティ)

このウイルスは、Perl で記述されたウイルスで、PHPBB のセキュリティホールを悪用して、Web サーバーに感染を拡大する活動を行います。

Web サーバーが感染すると、特定の拡張子のファイルが上書きされ、公開しているページが改ざんされます。

5. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約 89% を占めています。

届出者	届出件数					
	2004年12月		2004年11月(前月)		2003年12月(前年同月)	
一般法人ユーザ	4,348	88.6%	4,688	88.3%	1,275	87.8%
個人ユーザ	247	5.0%	229	4.3%	63	4.3%
教育・研究機関	310	6.3%	391	7.4%	114	7.9%

6. 地域別件数

関東地方が最も多く、続いて中部地方、近畿地方の順となっています。

地域	届出件数					
	2004年12月		2004年11月(前月)		2003年12月(前年同月)	
北海道地方	5	0.1%	9	0.2%	1	0.1%
東北地方	147	3.0%	95	1.8%	41	2.8%
関東地方	3,462	70.6%	4,117	77.6%	760	52.3%
中部地方	630	12.8%	334	6.3%	277	19.1%
近畿地方	622	12.7%	711	13.4%	364	25.1%
中国地方	1	0%	1	0%	4	0.3%
四国地方	28	0.6%	40	0.8%	3	0.2%
九州地方	10	0.2%	1	0%	2	0.1%

7. 感染経路別件数

メールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約99%を占めています。

感染経路	届出件数					
	2004年12月		2004年11月(前月)		2003年12月(前年同月)	
メール	4,860	99.1%	5,229	98.5%	1,326	91.3%
外部からの媒体	11	0.2%	3	0.1%	15	1.0%
ダウンロード()	2	0%	5	0.1%	6	0.4%
ネットワーク	29	0.6%	62	1.2%	71	4.9%
不明・その他	3	0.1%	9	0.2%	34	2.3%

() ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2004 年 12 月		2004 年 11 月(前月)		2003 年 12 月(前年同月)	
0 台	4,882	99.5%	5,267	99.2%	1,386	95.5%
1 台	20	0.4%	26	0.5%	50	3.4%
2 台以上 5 台未満	2	0%	8	0.2%	9	0.6%
5 台以上 10 台未満	0	0%	2	0%	3	0.2%
10 台以上 20 台未満	1	0%	2	0%	1	0.1%
20 台以上 50 台未満	0	0%	2	0%	1	0.1%
50 台以上	0	0%	1	0%	2	0.1%

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

コンピュータウイルス対策基準

- ・ 通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・ 通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・ 通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

花村 / 加藤 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp